

第2期モニター・アンケート調査の報告

徐々に学会活動に滲透してきたモニター制度

OR学会の活動に関して皆様のご意見をお伺いするため、昨年度から始められたモニター制度も現在第3期のモニターの方々に、アンケート調査にご協力いただいておりますが、昭和56年2月から7月までの半年の間に第2期モニターの方々からお寄せいただいたさまざまなご意見、ご提案等について簡単ではありますが、集計結果を報告させていただきます。

第2期は、27人の方々にモニターとしてご協力いただきました。上記期間中に毎月1回、計6回のアンケート調査を行いました。アンケートは第1期と同様に、毎回共通の質問項目と各回ごとに異なる質問項目とに分れており、毎回共通の質問はOR誌の特集記事に関するものでした。また、各回ごとに異なる質問項目には春季研究発表会、見学会、連載記事、ORサロン、研究部会、会員数等を取りあげました。

OR誌にはこの期間次の特集記事が組まれました。

- 2月 鉄道のOR
- 3月 物流
- 4月 待ち行列の現状
- 5月 創造への接近
- 6月 海外プロジェクト・マネジメント
- 7月 エネルギー問題とOR

これらのOR誌の特集記事および連載記事には、ほとんどの皆様が興味をおもちになられ、第1期と同様に、良い評価がなされているようです。OR誌に関して、さまざまな、有益なご意見をいただきましたが、その中から少し抜き出してみますと、

- ・マイコン用のBASICプログラムをOR誌に
- ・入門的解説記事の連載を
- ・専門的内容の増刊号を
- ・テーマごとに文献リストを
- ・実例を主とした泥臭いものをもっと多く
- ・研究部会の活動内容を…

また、春秋の研究発表会についても、運営、テーマ、内容ともに妥当であるとお答えの方が多かったようです。やはり皆様からのご提案から一部拾ってみますと、

- ・企業からの参加は2日が限度でシンポジウム、見学会等には参加がむずかしい
- ・特別テーマの発表をもう少し早めに
- ・宿泊施設の案内を
- ・発表時間をもう少し…

今後のOR学会の活動全般についても、他学会との共催による国際会議開催、OR学会編集のOR全集発行等、多数の建設的なご提案をいただきました。また、モニターの皆様には、大阪府立大学における春季研究発表会会場で、モニター会議と称して、お集りいただきまして学会活動に関して忌憚のないご意見を多数いただきました。これらのご意見は、各回ごとにまとめて理事会、編集委員会等に紹介されておりますが、最近では、逆に、委員会等から、モニターの方に…について意見を伺いたいというような要望も出され、徐々に、モニター制度も学会活動に浸透してきているようです。

また、モニターの皆様からも、モニターになってからOR誌をよく読むようになったといううれしいご感想も多数いただいております。皆様からいただきました貴重なご意見は、今後の研究普及活動の発展に資したいと存じております。末筆ながら、ご協力いただきました下記の第2期モニターの皆様には、この紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。今後ともモニターの方に限らず一般会員読者の方々からも、今後の学会活動の発展に自由なご意見をお寄せくださるようお願い申し上げます。

(研究普及委員会)

〔第2期モニターの皆様〕

河部俊一、青木 茂、今澤明男、今村 達、入船光之、上田亀之助、大沢 光、金子 宏、金子 寛、小池将貴、小岩 明、児玉正憲、佐伯祐治、鳥辺晋司、徳永賢一、富田倫也、萩原健良、早瀬允弘、樋口 透、藤田修一、福田 甫、細野泰彦、本莊雄一、巻淵敏郎、三角義明、八戸英夫、山下達哉。

(敬称略)